

本抄訳は、マドフ救済基金が第 6 回目の支払いに先立ち、他の源泉から受け取った追加的回収金情報について申請者に確認するために送った要請通知の記載に基づき、SMB C日興証券株式会社が抄訳を作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。

マドフ救済基金
私書箱 6310
シラキューズ、ニューヨーク 13217-6310

申請番号 XXXXXXXX

(申請者の氏名・住所)

2020 年 9 月 ● 日

新たな追加的回収金情報更新の要請

謹啓 申請者様

私は、貴方および貴方の愛する人々が、現在の新型コロナウイルスに苦しむ世界的な危機を、安全に穏やかに乗り切っていただけたらと願っています。過去 6 か月は我々すべてにとって衝撃的でした。我々は貴方がこの新しい環境における健康と生命の危機を無事に乗り切っていただけたらと願っています。

マドフ救済基金（以下、「MVF」といいます。）はマドフ関連詐欺の被害者に対する第 6 回目の支払いに向けて準備中であることをお知らせいたします。我々は 2020 年の年末までには第 6 回目の支払いを始める予定です。MVF からの 5 回の支払いにより 32,000 件以上の被害者は、詐欺による損失に対するすべての源泉から 73.65% の回収を受け取りました。27 億ドル以上の現金での支払いに加え、我々は彼らの追加的回収金情報を開示することがまだできていない被害者への支払いのため相当額を留保しています。我々は今、被害者の皆様にさらに支払うことができることを嬉しく思います。

米国司法省は第 6 回目の支払いにより、新たな、より高い目標回収率を確定します。皆様へのそれぞれの支払いは、他の源泉からの回収金がある場合はそれらを控除したうえで、皆様の承認された損失額にこの目標回収率を乗じた額となります。皆様への支払いを計算するため、MVF は皆様がこれまでに受け取られた回収金の合計に関する情報を更新しなければなりません。

この書類に添付された表（次ページに掲載）は貴方のこれまでの回収金に関する我々の記録です。貴方のマドフ関連の損失に関して（MVF 以外の源泉から）新たに受領した回収金がある場合は記入していただき、また誤りがある場合は修正してください。どうぞ：

- MVF のウェブサイト www.madoffvictimfund.com に行き、“UPDATE RECOVERIES（追加的回収金の情報更新）” ボタンをクリックしてください。記載方法に従って必要情報を入力するだけです。
- 変更や追加がある場合は、この表に直接記入し、署名をして E メールで送ってください。info@madoffvictimfund.com またはこの表に記入、署名した書類の写しをこの通知に記載されている住所に郵送してください。
- 次のページの表に記載されている以外に、マドフ関連の損失に対する支払いを貴方が受領していない場合は、貴方は単純に“NO ADDITIONAL RECOVERIES（追加的回収金を受け取っていない）”と証明する E メールを貴方の申請番号と合わせて送付してください。

遅滞なく、ご対応ください！

もし本通知をご覧になり、不明なところがございましたら、MVF のヘルプデスクに E メール (info@madoffvictimfund.com)、またはお電話（米国 (866) 624-3670）でお問い合わせください。

謹白

リチャード C. ブリーデン
特別管財人 マドフ救済基金

本抄訳は、マドフ救済基金が第 6 回目の支払いに先立ち、他の源泉から受け取った追加的回収金情報について申請者に確認するために送った要請通知の記載に基づき、SMB C日興証券株式会社が抄訳を作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。

以下は申請番号 XXXXXXXX が MVF にこれまでに開示したすべての追加的回収金を記載した表です。この開示を完全なものにするため、必要な情報を記載してください。

回収日	回収額	回収の種類	源泉（支払元）

もしくは

私は、偽証すれば米国法の下での偽証罪に問われることがあることを確認した上で、MVF へ当初申請を申し立てて以降、現状でも完全に正確な状況であり、私のバーナード・L・マドフ証券への投資による損失に関して、“**No New Recoveries（新たな回収金を受け取っていないこと）**”であることを証明いたします。

貴方は、上の表に記載するか、もしくは、“**No New Recoveries（新たな回収金を受け取っていないこと）**”を証明し、下記に署名しなければなりません。これにより、偽証すれば米国法の下での偽証罪に問われることがあることを確認した上で、宣言および、この中に含まれた情報、行われた供述、記載された回答は、真実であり正しいという信念を構成することになります。

署名

氏名（ブロック体、英字名）

日付
